

忍耐をもって走り続けよう

2025年5月25日

ヘブル人への手紙 12章1節
コリント人への手紙Ⅰ 9・24～27
ガラテヤ人への手紙 2・2
テモテへの手紙Ⅱ 4・7

序：10・36～39 神のみところを行って約束のものを手に入れるために必要なのは忍耐です。…… 恐れ退いて滅びる者ではなく、信じていのちを保つ者です。

11・1～40 旧約聖書の中、中間時代の信仰者たち聖徒たちの実例
苦難、迫害、殉教の死 ⇒ 神への信頼、約束の救いの確信、
来るべき永遠における希望

12・1～ ヘブル人への手紙の読者（信仰ゆえの苦難、迫害に恐れ、不安を抱きつつ主に忠実であろうとして苦闘）への信仰者としての日々の生活に対する勧め、励まし
忍耐がキーワード

I. 多くの証人たち

11章で列挙・紹介された信仰者たち
近い時代では、ステパノ（使徒 7・54～60、22・20）
アンテパス（黙示 2・13）

何の証人か？：キリストの生と死と復活のいのちが信仰者にもたらした救いの完成
ひたすら、それに向かって苦闘しながらも希望をもって走る生活が可能である

雲のように取り巻いている：おびたしい数
単に競技を見る者とか応援する人たちではない

彼らは約束のものを得るために、忍耐しながら、その生涯を完うした忠実な証人
後に続く信仰者たちにも、それは可能であることを示し励ますこととなった

II. 生涯＝競走

(1)Ⅰコリント 9・24～27
賞を受けられるように走りなさい（途中で棄権しない、落後しないで完走）
そのためには、自制する（自分を打ち叩いてでも）
冠を受けるため（朽ちる冠ではなく、朽ちない冠）
決勝点を見据えて走る

(2)ガラテヤ 2・2
（異邦人にもユダヤ人にも、大衆にも個人にも福音を宣べ伝えた）
それは、私が力を尽くして今走っていること、またすでに走ったことがむだにならないためでした。

(3)Ⅱテモテ 4・7
私は勇敢に戦い、走るべき道のりを走り終え、信仰を守り通しました。
パウロは間もなく殉教する

Ⅲ. 走る者の備え

(1) いっさいの重荷を捨てる

一部ではない、いっさい捨てる＝身軽になる

重荷は各人異なる（信仰生活という競走を妨げているものは何か？）

（注）世話を必要としている家族、隣人を重荷と感じて見捨てることは不可
持ち物、人間関係における要らざる負荷、仕事・活動における超過……

(2) 纏わりつく罪を捨てる

繰り返し纏わりつく（一度だけではなくなので、その都度根気よく）罪を除く
主の所に持って行き、処理していただく

常習的、日常的、体得的な罪、慣れっこになって妥協、無自覚

怠惰、先き延ばし、自分の利益最優先、承認要求、えこひいき、汚れた言動、
他人をさばく……

Ⅳ. 競走者の覚悟・心得

(1) 忍耐をもって走る

ただ、歯を食い縛って我慢することではない

先にある希望・報いを知っていれば忍耐できる

自分の思いどおりには行かないことのほうが多い

神の約束は必ず、時満ちて、成就するので、望みをもって待つ

(2) 以前も今もこれからも天に召される時まで、走り続ける（完走）

継続は力、いつかは必ずゴール、終点に至る

順位をつけるというより、走りぬくかどうか（相対ではなく、絶対）

(3) 目当てに向かって走る

私たちの目当てはイエス・キリスト（信仰の創始者であり完成者）

Ⅴ. 結び

(1) 私たちに先だって多くの証人たちが、苦難・試練・迫害の中でも、信仰によって
生きることができる、勝利の生活が可能であることを彼らの生涯（生と死）を
通して証ししている／後世の信仰者への激励、声援となる

(2) 私たち自身の信仰生活もほかの信仰者、後世の信仰者にとって望み／励ましと
なる

(3) 競走者の備えとして、身軽に身を整え、走る支障を除くこと

いっさいの重荷を捨てる

纏わりつく罪を捨てる

それらが何かを見極め、実行できるように

(4) 目当てから目を離さず、走り続けること

一回限り、あるいはある程度までで放棄しない（マラソンだと途中棄権・落後
よそ見、目移り（目） ⇒ 競走不能（脚足）

(5) 大切大変なことには勇氣と忍耐をもって執りかかり、成し遂げる必要がある

頑張るのではなく、むしろ楽しく達成することを考える

主に頼るのが、最も安全、安心、最善（成すのは主、主の御業）